

平成25年11月市会

# 新市長のリーダーシップで 市民生活の質向上を図れ

12月9日の本会議で一般質問に吉田謙治議員(西区選出)、菅野吉記議員(兵庫区選出)が立ち、こども医療費の無料化、三宮周辺地区の再開発、デザイン都市の今後方向、密集市街地対策や障がい者の移動支援などについてそれぞれ市長並びに関係当局に対して質問しました。

## こども医療費 無料化の財源は

こども医療費の負担軽減は長年にわたり公明党が要望をしてきた課題であり、現在は中学生の場合入院は無料、外来は2割負担まで軽減することができました。このたびは更なる負担軽減を図るべく、吉田議員は久元市長が公約に掲げている

こども医療費の無料化について「約20億円の財源をどのように確保するのか」と質したところ、久元市長は「国の財源を活用できるような積極的に働きかける」と答弁し、こども医療費の無料化実現に向けた姿勢を表明しました。

## まちづくりは神戸の 特徴を活かせ

近年、大阪市をはじめ大都市が玄関口である主要駅周辺の大規模開発を行っているが、吉田議員は「三宮駅前等の再開発について、本市の持ち味や特徴をどのように活かした手法をとるのか」と質しました。



久元市長は「神戸市において鉄道事業者のみならず、民間会社の投資を誘引できるような都市空間が必要」と答弁し、鳥居副市長は「民間活力を



## デザイン都市の 今後の方向は

導入して神戸の玄関口に相応しい空間をつくる」と魅力あるまちづくりへむけた姿勢を示しました。

神戸の魅力を高める源泉は芸術文化やデザイン、ファッション。新たに「デザイン都市推進会議」を組織すると聞かすが、この吉田議員の質問に対し市長は「複数の専門家が参加できる会議体を検討する」と答弁しました。

## 密集市街地事業の 地域格差をなくせ

兵庫区北部をはじめ市内の密集市街地では建物の老朽化や空き家対策、そして狭隘な道路が防災上課題であることが多いため、菅野議員は市民の命を守るためにも「密集市街地として指定している地区の進捗状況の差を軽減することが必要」と質しました。

鳥居副市長からは「地区によって

## 障がい者移動支援の 選択肢拡充を

状況が異なるため手法は異なるが、地域が主体となってまちづくりができるようにする」と答弁するとともに、防災上安全確保のためにも、消防局との連携も強化していくと表明しました。

障がい者の社会参加が増えるなかで、自家用車を運転する方が増加

している現状を鑑み、本市が行っている福祉乗車制度とタクシー利用助成制度に加え、菅野議員は「自家用車の燃料費を助成する制度を選択肢に加えるべきではないか」と質しました。

玉田副市長は「現在福祉バスやタクシー助成を利用している方だけでなく、利用者以外にもアンケート調査を行う」と答弁し、利用者等の声を施策に活かす方向性を示しました。



## コンビニ大手 「ファミリーマート」が AED設置へ!

公明党が議会質疑を通じて、AEDの設置はわかりやすい場所で24時間使うことが可能な「コンビニ」に置いてもらうべきと強く要望をしていたことを受けて、2013年12月11日に神戸市と包括連携協定を締結した「ファミリーマート」の店舗にAEDが設置されることになりました。

これによって各区役所のAEDが24時間使えるように

なったことに続いて、公明党が進めている安心安全のまちづくりが大きく前進をします。

安心安全のまちづくりが  
大きく前進!







## 未婚の母子家庭の負担を軽減 寡婦控除の「みなし適用」を求める

結婚していない両親の子どもは、結婚した夫婦の半分しか遺産相続できないとする民法の規定を、最高裁判所が「憲法違反」と判断したことを受け、公明党の主導により12月5日に改正民法が成立しました。

このような婚外子の差別問題に關連して、未婚・非婚のひとり親家庭には、寡婦控除が適用されず、保育料や市営住宅の家賃が控除後の所得によって決まることから、経済的な負担が重くなっています。

公明党神戸市会議員団は、12月17日、未婚・非婚のひとり親家庭にも「寡婦控除をした」とみなして、保育料などを減額する制度の導入を久元市長に要望しました。

# 公明党の要望が実現

### 1 小規模保育と新增設で保育枠1200人拡大へ

「待機児童」の解消に向け、国の待機児童解消加速化プランの「小規模保育事業」を活用し、来春には0～2歳児を対象とする定員6～19人の小規模保育施設を市内20カ所以上に設置し、新たに300人超の受け皿ができる見込み。認可保育所の新增設も市内18カ所（定員870人）で進んでおり、これを合わせると来年度中に1200人の受け皿ができます。

### 2 保育サービスコーディネーターが全区配置へ

子どもの保育を希望するご家庭に対し、状況に応じてさまざまな保育サービスの内容や利用方法などの情報を提供する「保育サービスコーディネーター」が全区に設置されます。

### 3 IC乗車券利用で乗り継ぎ一部無料へ

2014年4月から神戸市バスでPiTaPa（ピタパ）やICOCA（イコカ）などのIC乗車券を利用すれば、乗り継ぎ後の運賃が一部無料となります。

## マニフェスト大賞の優秀成果賞受賞

### 公明党が提案し成立 初の議員提案条例

公明党が提案した初の議員による政策提案条例「神戸市における災害時の要援護者への支援に関する条例」の提案から可決に至るまでの取り組みが評価され、神戸市会が第8回マニフェスト大賞の優秀成果賞を受賞しました。



代表で大賞を受け取る大澤議長（右）

## 立党50年・「衆望」に応える新たな出発

公明党は昭和39年の立党から本年で50年。その当時、政界は自民党、社会党の二大政党が争っていました。大資本や労働組合いずれにも属さない多くの大衆の要望、すなわち「衆望」に応えようとスタートしました。

### 小さな声を実績に

名もなき庶民、女性や若者の小さな声に耳を傾け、教科書の無料化、児童手当の創設、パート減税、難病医療費の公費負担、白内障手術など多くの治療や薬品の保険適用、奨

### 知恵の「わ」

術など多くの治療や薬品の保険適用、奨

### 大衆福祉の原点守る

2009年の総選挙に大敗し下野。3年余りの民主党政権の混乱の結果、2012年12月から現在の自公連立政権に至っています。

まさに激動の50年ですが、常にそ

学金の拡大など、「衆望」に応える数多くの実績を残してきました。この間、1993年には細川政権で連立政権を組み、自民党単独政権に終止符を打ちました。その後再び野に下ったものの、1999年に自民党との連立政権に参画し、さらに多くの実績を積み重ねてきました。だが、自民党の不祥事や迷走により2009年の総選挙に大敗し下野。3年余りの民主党政権の混乱の結果、2012年12月から現在の自公連立政権に至っています。

の原点は大衆福祉であり、右でも左でもなく、何が「衆望」に応えるか、その一点を追い求めてきました。その原動力は、庶民大衆の力です。党员、支持者の熱心な支援があり、それ故に厳しく議員に注文を付ける。その緊張関係が公明党を支えています。そして約3000人の地方議員の数は政党のなかでトップ。



日々庶民のくらしに寄り添い、「小さな声を聞く」地方議員の戦いが庶民のための政治を支えています。

### 立党以来の正念場

最近公明党に対して自民党のブレーキ役を期待する声が増しに強くなっています。しかし国会議員数は衆参両院あわせて自民党407、公明党51。右傾化や国家主義に不安を持つ国民の期待にどう応えていくか。「衆望」に応える新たな50年の幕開けは立党以来の公明党の存在意義をかけた年であることを肝に銘じ、まなじりを決して勇躍スタートして参ります。

日々庶民のくらしに寄り添い、「小さな声を聞く」地方議員の戦いが庶民のための政治を支えています。

議員力を向上させ  
「新たな衆望」を担う！

結党50年を迎えた本年、  
今再び「大衆とともに」の原点に立ち、  
新たな衆望を受け止め市民の暮らしを守りぬきます。



北川道夫 東灘区

高瀬勝也 灘区

沖久正留 中央区

菅野吉記 兵庫区

山田哲郎 北区

堂下豊史 北区

軒原順子 長田区

向井道尋 須磨区

大澤和士 垂水区

壬生潤 垂水区

吉田謙治 西区

藤本浩二 西区